

吹田市  
公共交通維持・改善計画

アクションプラン（案）

令和4年（2022年）3月時点

吹田市公共交通維持・改善計画（令和4年（2022年）3月策定）

基本理念

いまある公共交通を守り、多様な手段と連携し、みんなで支え未来へつなぐ公共交通

基本方針	事業	事業名	アクションプラン（令和4年度（2022年度）～令和13年度（2031年度））				
			事業内容	実施主体	実施時期	参考資料	
公共交通サービスの維持・充実とPRによる利用促進	事業1	公共交通サービスの維持・向上	車両のバリアフリー化	高齢者、障がい者等の利用環境の向上を図るため、バス事業者が進めるノンステップバスの導入に要する費用を補助し、車両のバリアフリー化を推進する。	市 交通事業者	継続実施	
			交通事業者各社の利便性や利用環境向上に向けた取組み	これまで交通事業者各社で実施されている「利便性や利用環境向上に向けた取組み」を今後も継続する。	交通事業者	継続実施	
			バス停環境の改善	バス停の <b>安全性</b> ・利用環境の向上を図るため、バス事業者が行う上屋・ベンチの設置に要する費用を補助する。  上屋のみ設置している既存のバス停58か所のうち、ベンチを設置しても歩道幅員が確保可能な26か所においてベンチを設置する。  ベンチ、上屋とも設置の無い既存のバス停については、バス事業者の経営状況等を勘案しつつ、関係機関と協議・調整をすすめる。	市 交通事業者	令和4年度～令和9年度  適宜実施	
	事業2	運行情報の提供	広報誌、公共交通マップによる情報提供	交通事業者の運行情報等を、広報誌、公共交通マップにより発信し、公共交通の利用促進を図る。	市	継続実施	 
			リアルタイムな運行情報提供、近接情報検索の継続	リアルタイムなバスの運行情報がわかる「接近情報検索」サービスによりバス利用の利便性を向上する。	交通事業者	継続実施	  <p>★バスの位置情報が確認出来ます。</p>
			コミュニティバスへのデジタルサイネージの導入	情報提供ツールとして、コミュニティバス（すいすいバス）にデジタルサイネージを導入し、情報提供や広告媒体として活用するとともに、掲示物のデジタル化でペーパーレスによる環境負荷低減に寄与する。	市	令和4年度～	

吹田市公共交通維持・改善計画（令和4年（2022年）3月策定）

基本理念

いまある公共交通を守り、多様な手段と連携し、みんなで支え未来へつなぐ公共交通

基本方針	事業	事業名	アクションプラン（令和4年度（2022年度）～令和13年度（2031年度））			
			事業内容	実施主体	実施時期	参考資料
公共交通サービスの維持・充実とPRによる利用促進	事業3	高齢者自動車運転免許の返納者向けのサービス	身体機能や認知機能の低下を自覚しながらも、運転を継続する高齢者への運転免許返納のサポートとして、返納後に購入したバス定期券・交通ICカード・タクシー乗車券の費用を補助し、公共交通の利用促進を図る。 対象者：75歳以上の自主返納者 補助金額：1返納あたり6000円まで  啓発に係るチラシを作成し、市HPや市報に掲載、福祉部や吹田警察に配架、自主返納者への配布など、関係部署と連携して自主返納を促す。	市	令和4年度～	
		学生（小・中学生）に向けた運賃補助	路線バスの利用機会が少なく、将来需要の見込まれる小・中学生を対象に「モビリティマネジメント」の一環として無料乗車券を配布する。利用のきっかけを作り、日常の移動手段の選択肢として知ってもらい、路線バスの将来需要の拡大及び利用促進を図る 対象者：市内在学の小・中学生 配布数：学生1人あたり2枚 利用期間：夏休み始期から冬休み終期	市 交通事業者	令和4年度～	
	事業4	交通事業者各社の安全運転等に関する取り組み	これまで交通事業者各社で実施されている「安全運転及び経営改善に関する取り組み」を今後も維持・継続する。	交通事業者	継続実施	
		交通事業者各社の取り組みを市HPに掲載	市のHPに交通事業者各社で実施されている取り組みの掲載等、PRによる協力・連携を行う。	市	令和4年度～	

吹田市公共交通維持・改善計画（令和4年（2022年）3月策定）

基本理念		いまある公共交通を守り、多様な手段と連携し、みんなで支え未来へつなぐ公共交通					
基本方針	事業	事業名	アクションプラン（令和4年度（2022年度）～令和13年度（2031年度））				
			事業内容	実施主体	実施時期	参考資料	
市民・利用者に寄り添う利便性の高い公共交通ネットワークの形成	事業5	バス路線の見直し	交通需要と供給バランスに応じた運行の検討	交通需要や供給バランス等の様々な条件を考慮しながら、適切にバス路線を見直し、公共交通の利用者数や満足度の維持向上を図る。	市 交通事業者	継続実施	
			基礎調査において市民需要の高い、千里山地域～岸部地域へのバス路線について、事業者の路線の再編のなかで、令和4年度中の運行開始を目指す。	交通事業者	令和4年度～		
			運行にあたって必要なバス停留所の設置に要する費用を補助する。	市	令和4年度		
		将来の公共交通ネットワークの形成及び拠点整備に合わせたバス路線の見直し（都市計画道路、土地区画整理事業に合わせた路線検討）	都市計画道路の計画に合わせた将来の公共交通ネットワークの形成と拠点の整備に合わせた効率的なバス路線の改善を図るため、バス事業者と情報共有や協議を継続して行う。	市 交通事業者	継続実施		
	事業6	交通結節点の機能向上	自転車駐車が不足する駅における自転車駐車の整備推進	主要鉄道駅等におけるアクセス環境の充実を図るために、自転車駐車が不足している駅において自転車駐車整備を推進する。  JR岸辺駅周辺において用地取得、駐車場の整備を行う。	市	継続実施  継続実施	
			公共交通の機能を補完するシェアサイクルの拡充	公共交通の機能を補完するシェアサイクルの有効性や課題等を確認するため、令和6年3月31日まで実証実験を実施する。実証実験の結果を踏まえ、より一層公共性のある移動手段として位置付ける。	市	継続実施	
			自転車駐車の空き情報の発信	鉄道駅にある市営自転車駐車の利便性を上げるため、空き情報を発信するための設備の設置を検討する。	市	令和4年度～	
			乗換え動線の更なるバリアフリー化	鉄道駅におけるバリアフリールートの最短化、複数化のためのエレベーター設置により、バス停留所及びタクシー乗降場までの相互の乗換え動線の更なるバリアフリー化を推進する。また、エレベーター設置に係る費用を補助する。  江坂駅エレベーター設置に伴う歩道拡幅工事 江坂駅エレベーター設置工事	市 交通事業者  市 交通事業者	継続実施  令和4年度～ 令和4年度～	
			鉄道駅からバス・タクシー等への乗継ぎ案内情報の充実	鉄道駅からバス・タクシー等への乗継ぎ利便性を向上するため、主要目的地までの運賃表の掲示などの情報発信を検討する。	市 交通事業者	令和4年度～	
	事業7	地域コミュニティ交通の創出	地域主体による交通手段導入のしくみ検討	バス・タクシー等のサービス提供が困難な地域において、きめ細やかな移動を確保するために、地域住民・交通事業者・市が協力した地域に寄り添うモビリティの導入のしくみを検討する。	市民 市 交通事業者	令和4年度～	

吹田市公共交通維持・改善計画（令和4年（2022年）3月策定）

基本理念		いまある公共交通を守り、多様な手段と連携し、みんなで支え未来へつなぐ公共交通					
基本方針	事業	事業名	アクションプラン（令和4年度（2022年度）～令和13年度（2031年度））				
			事業内容	実施主体	実施時期	参考資料	
共に支え、将来に つなぐ 持続可能な 仕組みづくり	事業8	公共交通の魅力の発信	Webサイト、イベント開催、ファンクラブ、啓発グッズ制作の継続	これまで交通事業者各社で実施されている「Webサイト、イベント開催、ファンクラブ、啓発グッズ制作の取り組み」を今後も維持・継続する。	交通事業者	継続実施	
			教育機関との連携（モビリティマネジメント）	教育機関との連携を図り、モビリティマネジメント教育を推進する。	市	令和4年度～	
	事業9	担い手の確保	各企業における人材育成、技術継承等の取り組みの継続	これまで交通事業者各社で実施されている「人材育成やダイバーシティ、技術継承等の取り組み」を今後も維持・継続する。	交通事業者	継続実施	
			各事業者の取り組みを市HPに掲載	市のHPに交通事業者各社で実施されている取り組みの掲載等、PR等による協力・連携を行う。	市	令和4年度～	
	事業10	次世代交通システムの積極導入	交通事業者各社のMaaS、自動運転、EV、省エネ等の取り組みの継続	これまで交通事業者各社で実施されている「MaaS、自動運転、EV、省エネ等の取り組み」を今後も維持・継続する。	交通事業者	継続実施	
			各事業者の取り組みを市HPに掲載、関係部局との協力・連携	市のHPに交通事業者各社で実施されている取り組みの掲載等、関係部署との協力・連携を行う。	市	令和4年度～	